

広報よもぎた

内容

- つくろう住みよい村・語ろう明日の村…2～9
 - ・美しい環境づくりと地域活動
 - ・健康と安全をめざす地域活動
 - ・青少年健全育成と地域活動
- 行政コーナー・あなたの一票たいせつに・新生活運動追加内容・国民年金保険料改正…10～11
- 郷土の歴史・中沢地区ワラ細工伝承会…12～13
- 談話室・ヤングメッセージ・折々の歌
- とっちゃん元気ですか・ミニミニ情報…14～15
- 戸籍の窓口・ぼくたち春から一年生…16

No. 149



寒さも

へつちやら

雪んこ大会

二月二十日、子供会と母親クラブ合同の雪上運動会が村総合グラウンドで開かれました。

参加者は約二百人。この日のプログラムは、小型ソリリレー、でつたらだ雪だるまづくり、雪上すもう大会、白い雪の中で白いボールを追いかける雪上サッカー競技です。

日ごろ仕事で子供と遊ぶ機会が少ないというお父さんやお母さんから、『このときとばかり子供と体当りでやるぞ。』という声も出て、親も子も雪まみれの日でした。

中学生の皆さんは、蓬田中三浦先生の指導で、『歩くスキー』の滑走を実演。蓬田の恵まれた自然を楽しみながらすべれるという、冬の体力づくりを紹介しました。

2月
3月

つくるつるつる住みよい村

語るつるつる明日の村

◇明るい・豊かな・住みよい村をつくる村民集会報告◇

花で心なごむ村に

発表・村連合婦人会副会長 川崎 みわ

花いっぱい運動を実践してから五年。当初は国体で使用したフラワーポットを払い下げ、各部落に種子代を渡してフラワーコンクールをするようになりました。

ところが、財源に乏しい婦人会はフラワーポットが破損しても購入する予算がありません。あすなろ活動の予算を使えないかと社教課をお願いしたのですが、予算がないとのことでもりあがってきた花いっぱい運動も

影をひそめるありさまでした。

昨年、青少年育成村民会議の非行対策部から、環境浄化の一つとして花を植え村を明るくしてくださいと言われました。

今年度は「花で心の輪を広げよう」と球根にかえました。毎年春には花との出会いができ、楽しみが一つ増えました。植え付けもくふうして「駅は村の顔」と、阿弥陀川婦人会に依頼して試験的に蓬田駅に植えましたが、

何回か枯れてしまいました。その後は各公民館や役場、老人憩の家に、花で心をなごませることができるようなら、一つ一つ心をこめて婦人会員が植えました。きれいに咲いた花を見るたびに、よかつたなあと心が洗われる思いで通り過ぎたものです。

花も生き物です。時には水をやったり、草も取らなければなりません。霜が降る時期には取り入れなければなりません。すべて婦人会の手でやるとしたらたいへんな負担です。だれ一人として遊んでいる者はいません。日稼ぎに出れば一日何千円。忙しいのは皆同じです。ほんとうに言いにくい話です

蓬田村教育委員会では昨年十二月十二日、地域住民と行政担当者がいっしょに村づくりについて考える村民集会を開きました。当日は「環境づくり」「健康と安全」「青少年健全育成」の三本がテーマです。

以前から各種団体も取り組んできた課題ですが、地域全体の「村民運動」として取り組みあがる場合、「地域・行政・学校・家庭」がどう連携をとつたらよいか互いに分析する必要があります。その意味でも、村づくりに住民が自ら参加し意見を出し合う有意義な集会でした。

が、せっかく時間をさいて労力奉仕しても、管理がじゅうぶんでないと花も枯れてしまいます。心がありましたら、施設には女性もいますので、どうかよろしくお願いします。

来年度は夏に咲く球根を植える予定です。美しく咲く花をみると、村民に少しでもおおいを与えることができるならば、これが非行防止につながることであれば、毎年繰り返しでも無駄ではないと思います。

最近、子供たちと大人が一緒に活動する姿が少なくなりました。親と子が共に奉仕する心を育てなければ、人と人のつながりも助け合

きびしい自然にうちかつた私たちの祖先。

その心を受けついで生きる現代の私たち。

あなたは、「蓬田村民」であることに、

誇りを感じる(感じた)ことがありますか。

やさしい心も育たないと思います。

以前婦人会が春と秋に空き缶やゴミ拾いをしたら、婦人会は古いと言う若い人がいました。今年二回、婦人会は部落毎に空き缶拾いをやっています。奉仕活動には古きも新しきもありません。「一人一善、一人一声」で明るい村づくりをし、強くたくましい子供たちを育てたいと思います。

どうか婦人会の奉仕活動に對し、職員の皆さん村内の皆さんのお力添えをお願いします。



討議① 家庭から出るゴミについて

司会 家庭から出るゴミと、ゴミ置き場の状況はどうですか。

- 冷蔵庫が置き去りになったりしている。大きいゴミを夜にこっそり持つてくることもある。(中沢地区)
- ガラスにつつかれ散乱するので、ゴミを入れる大きな箱がほしい。(高根地区)
- 瀬辺地では、ゴミの上にジュータンをかぶせている。
- 青年団の人がゴミ箱をつくってくれたが、小さくて入らない。
- ゴミの日にきちんと出さな

いから、ガラスがつつく。
● ゴミ収集車のオルゴールが聞こえない。収集する時間が一定せず、出しに行くとしてでにを行った後という場合がある。

- ゴミを出すにしても、ゴミを集める人が扱いやすいように配慮して出すべき。
- ゴミ収集場所に小屋をかけたら散乱しないし、ガラスもつかずうまくいっている。(郷沢地区)
- 風が吹いても飛ばないような小屋か、木の箱がよい。ポリは飛んでしまう。
- 生ゴミはたい肥場に捨てる

と早く腐るし、ゴミ置き場のおいもなくなる。
● 回覧板を出して協力を呼びかけても、認識不足です。

- 子供会は部落の各種団体と一緒に頑張って、ゴミ拾いをしていきます。
- 広瀬と蟹田の間は特に空き缶が多く、広瀬婦人会はこれを拾っています。

助言 行政への要望として、各部落には衛生委員がいるので、この人たちの率先した活動を要望します。母親たちは、自分のちよつとした余暇を地域にいかしてみるのもいいと思います。(村連合婦人会長 二唐美代子)

助言 自分たちの住む環境をよりよいものにするならば、一人の責任とか行政だけにオンブしないで、地域住民みんなの責任のもとに知恵を出し合って処理するのがよいと思います。(蓬田小校長・戎 昭)

討議② 花いっぱい運動について

司会 あすなろ国体以後の状況はどうですか。この運動がうまく進まなかったとすれば、原因は何か考えてみることにします。

- 花を植える場所がない。
- 花を植えても、植えた後の管理がうまくいかなかった。
- せっかく花を植えても、ヤマセが吹くと塩枯れするという現象がある。
- 花いっぱい運動の輪を年々広げていきたいが、種子や苗を買う予算がない。
- フラワーポットを村内に配布し、特にバス停や公民館付近に花を植えているが、安いフラワーポットのためこわれやすい。フラワーポットの補充をぜひ考えていただきたい。



助言 植える場所がない、ヤマセで塩枯れするという現実にも負けることなく、村に適した品種を探して育てるといった積極的な姿勢を望みます。(蓬田小校長・戎)

助言 ゴミ問題にしろ、花いっぱい運動にしろ、子供

会とか婦人会の団体にだけ任せることなく、行政も積極的な姿勢で地域住民とともにどうしたらうまくいくか考えてほしい。行政と地域が協力し、村民全体が関心を寄せる運動になれば、長く継続していくと思います。(連合婦人会長・二唐)

我が村の交通安全活動

発表・蓬田村交通安全指導隊 藤田 修一

村内の交通安全活動団体は、行政サイドに交通安全対策協議会があり、民間に交通安全協会があります。

安全協会は村内在住運転者の会費と、交通安全対策協議会からの交付金で運営しています。

この下部組織に、交通安全母の会、交通少年団、交通安全指導隊があり、私はその指導隊に属します。協会の事業は、各部落から推薦された理事と指導隊が役員会を開いて決め、母の会、少年団の協力をえて実施してい

ます。

主な事業は、

●道路交通法、安全運転のための講習会

●村内道路点検・カーブミラー、安全標識の設置点検

●安全運動期間中の街頭指導とパトロール

●指導車での広報活動、夜間パトロール

●村内行事の交通整理、街頭指導

これらの活動を通して気付いた点を述べてみます。

1 国道二八〇号線はカーブが多く道路幅も狭い状態で

非常に危険な道路です。そのため、いたるところにカーブミラー、立看板、標識があります。

私たちが安協役員が年に二、三回点検清掃しますが、ドロでよごれたり、倒れたり、曲がったりで用をなしていないものが多いぶんあります。住民の力で、家族が安心して運転できる道路事情にしたいものです。

2 村内の国道二八〇号線は全区間追越禁止です。近年大型車を中心に平然と追越する車が増えています。特に朝の通勤時間はひどいものです。朝ギリギリに出勤するのも原因かと思

います。先日、村内の車が奥内地区で追越車による事故の被害にあっています。決してスピードの出過ぎと追越は許されません。

運転者の家族も注意しましょう。郷沢地区には立派な歩道がありますが、利用状況はよくないようです。右側歩道の習慣のせいか、瀬辺地方から郷沢方面への歩行者が山側の道路端を歩いています。運転者は非常に気になるものです。必ず歩道を利用しましょう。

3 中学生の自転車登校は、マナーが良いと運転者にも警察にも模範と好評です。ところが、下校時は百点満点ではありません。国道とのT字路は一時停止し、安全確認してから発進してください。

4 蓬田地区通学路での自転車ですが、自動車来ると両側へわかれて寄るので危険だという声があります。左側へきちんと寄りましょう。

5 小学校では蓬田以南を徒歩通学しています。父母、指導隊員の指導期間が終わると乱れてきました。慣れたところがいちばん危険です。

6 村内の事故は少なくしなればなりません。蓬田村の運転者による他町村での事故が非常に多くなっています。私自身もそうですが、村外に出ると気がゆるみがちです。

7 蟹田警察署管内の交通事故の半数が我が村で発生しています。運転者、交通安全関係者の努力だけでなく、家族、村民こそって注意しあえば、交通事故を村内から一掃することになると思います。



増やそう。スポーツ仲間

発表・蓬田村体育協会会員 木村留恵子

結婚して十四年になります。子供たちが小さいころはあまり外に出ることもなく暮らしてきました。

五十一年の春です。店に買物に出たら、あすなろ国体の集団演技に出る婦人を募集していると聞き、私も仲間に加えてもらいました。ところがいつの間

か、蓬田の指導者という立場になり、これが婦人スポーツへ関心を持った第一歩です。

婦人スポーツの集いとは：

婦人スポーツの集いとは何かちよつと触れてみます。五十二年の青森県民総ぐるみで実施した「あすなろ国体」は、記憶に

新しいはず。開会式を飾る集団演技には、県内十五市町村から千六百人の婦人が参加しました。

二年間猛練習を重ねた演技はすばらしく、私たちもまるで、団体選手になった気分でした。これをそのまま団体だけで終わるのは残念だし、スポーツで結ばれた県内婦人のふれあいをなくしてはいけないと、翌年から「婦人スポーツの集い」として

継続することになりました。毎年テーマがあり「花」歓迎結

健一さわやか」と続き、参加町村も増えていきます。

こうした華やかな影にも、人知れぬ苦労があります。指導者は田植えの最中、演技指導を青森でうけなければなりません。五時間の特訓でマスターしなければならず、地域に帰っていき指導のとき忘れる部分もあったりして、迷惑かけることもしばしばです。

主婦対象の集いなので、週に一、二回の練習もたいへんです。一日の仕事を終え家に帰り夕食

のしたく、子供の世話。晚七時の練習に出るには、目の回るような忙しさで。その中から練習に出るので、主人や姑さん、子供たち、家族みんなの協力がないとやれるものではありません。

『今日は練習日だから、あと片付けなら私がやります。』と姑さんからやさしい言葉をもらった人。どんな様子が車で送つてく

討議①

交通安全活動

について

司会 討議に終わることなく、実行できる身近なことを話し合いたいと思います。

- 最近疑問に思うのは、安全運動期間だけ交通ルールを守っているようで、それが子供にもみられることです。特に徒歩通学の場合、先生や父兄、警察が見ているときだけ注意しては、何にもならないと感じています。
- カーブミラーの清掃ですが油膜がかからないようにできていますか？
- 最近ではプラスチック、ステンレス製のものがあります。蓬田はほとんどステンレス製で、清掃すればきれいになります。

れた人。家族のねぎらいを受けながら、私たちは続けることができました。この集いを通して、五十代から二十代の幅広い友だちもでき、私のこれからの人生の宝です。

感想文集を発行

私たちは婦人スポーツに参加した感想を、第一回目から文集にしています。これが東奥日報

- 春に掃除したことあるが、掃除している間にも大型車が来ると汚れてしまう。でも実用的なものだから、奉仕で一時的にでもきれいにする活動はできま

- ミラーは子供たちから見えるようになっていませんか？
- ミラーは自動車の用で作っていると思います。
- ミラーの曲がり、汚れは使用する人がやればよいと思う。中学校通りの下は時々洗うが、水をかけてハケで洗えばきれいになります。洗剤をつけないほうがよいようです。
- 子供たちには、カーブミラーをあてにしない教育をするべきです。
- カーブミラーはあくまでも補助的手段です。歩行者、自転車は肉眼で確かめた方がよい。
- 小学校では、カーブミラーの教育はしていない。

に『青春取り戻す。いきいきした文章で』と掲載され、演技指道の長内昭子先生にも、やりがいがありますと喜んでもらえました。文集は、集団演技で協力しあつた仲間たちの思い出の花です。

文集には『仕事後の練習はつらかった。』『今日は練習日だと思つと仕事に力が入る。』『体を動かし汗を流すと疲れがとれ

- 道路におおいかぶさっている木が気になり邪魔です。取り除くべきだと思う。小学校通りの路切手前交差点付近に児童集合同所があるのは危険です。
- 小学校通りの児童集合同所ですが、ここはいろいろな方面と相談して決めたものです。危険であれば、移動を考えてみます。

- 道路上に犬や猫の死体があります。気がついたら片付けてほしい。
- 雪が降ると道路が狭くなるのに、道路に雪を出す人がいます。これはお互いにやめたいものです。
- 最近ではスピード違反しても罰金を払えば文句ないだろうとか、事故を起こしても賠償制度が発達しているの、罰の意識が薄い傾向です。

司会 自転車通学、徒歩通学の状況はどうですか？

る。』など。いちばん多いのは『スポーツを通して友だちができた。』『来年もぜひやりたい。』という言葉です。これらも、婦人のスポーツ熱はかなりあります。

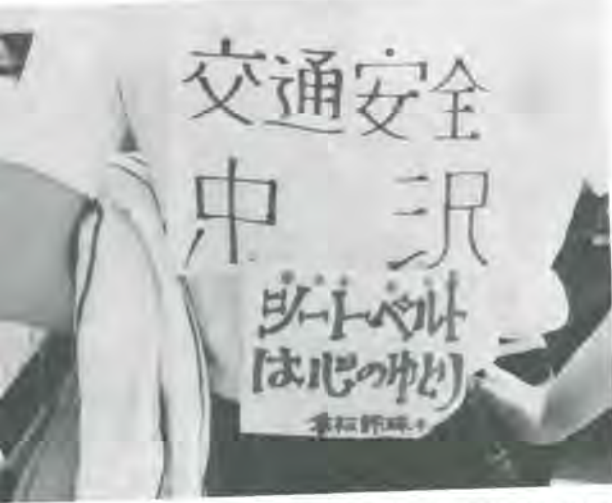
婦人たちは、仕事以外で体を動かす機会がほとんどありません。やればやっただけ、あれだきや、チャカシだはんで、遊んでばかりい。』と言われがちで

- 現在小学生の徒歩通学が乱れています。始めたころは整列して歩いたが、最近は旗も笛も持っていない。
- 保育所と幼稚園は、朝は親がついているのでよいが、帰りはバスから降りると走りだして

す。

誰に言われようが、自分の健康を守るのは自分です。これからもスポーツする婦人仲間を増やし、若い人にオバンと言われようが、スポーツでさわやかな汗を流したいと思います。

- 危険です。これは家庭のしつけとして、口が酸っぱくなるほど注意すべきです。子供を送迎するお母さんの中に、自転車やバイクに三人、四人乗りをする人がいて危ない。
- 登下校時、土・日曜日に中学校では子供たちの自転車をチェックしているし、罰則も設けています。学校の目の届かないところで問題があつたら、ぜひお知らせください。(中学校)



討議②

健康づくり

について

司会 健康づくりについて、日ごろ考えていることや気付いたことありませんか。

- 婦人スポーツの集いに参加してみて、子供たちの部活動が理解でき、子供の心とも接近できました。もう少し参加者が多くなればいいと思います。
- そういう集いのあることを知りませんでした。回覧板などで知らせているのですか。
- 各部落に連絡員を置き参加者を集めています。あまりにも

小さい子がいる人には、遠慮して知らせないこともあるようです。

● いつ、どこで開催されるか広報活動で知らせればよいと思います。チラシは「また来たか」ぐらいに流してしまいう傾向があるので、各自注意したいものです。

助言 安全と健康は人命尊重よりも人命尊重軽視から考えると考えます。カーブミラーの件で奉仕の話が出たが、これらの問題は、行政にだけ頼ってもだめでしょう。スポーツは、中学校の体育館を解放しているので、お

おいに活用してほしい。そのためにも、みんなが参加できるような工夫をしてはどうか。

(蓬田中学校長・伊勢 正)

助言 猫の死体など自分の家の人が片付けてほしい。原則として、自動車でひいた人が処理すべきです。自分でやっても処理しない意識が交通事故にもつながると思います。

スポーツはストレス解消に良い方法です。人を集めることはたいへん苦労があるようです。担当者は「スポーツする」ことに対し理解を深めてほしい。(蓬田小教頭・木村清次)

うちの子どもしかつてくください

発表・蓬田小PTA・小野富美子

最近の新聞を見ると、青少年の性非行、家庭内暴力、自殺などの暗いニュースがたくさんあります。三人の子を持つ親として、胸がしめつけられる思いです。両親が健在で、経済的にも困っていない家庭の青少年非行が多いのも気がかりです。

以前は思春期は反抗期としてこの世代が主流でしたが、最近では子供の成長過程そのものが非行原因になっているようです。この原因を私なりに考えてみま

した。

① 過保護、放任、教育ママ、母子密着など、親の甘さで自己中心的な子供たちに育っているため、自分を押える力が失われている。

② テレビは子供の遊びにも大きく影響している。集団遊びの中で体力や技、知恵を競い合い生活経験を豊かにする機会が少なくない。

③ 家庭の電化は子供の仕事を少なくし、自分のことは自分で

やるという生活習慣にも影響。生活物資や遊具の大量生産は、金さえ出せば何でも手に入るという環境をつくっている。

このようなむずかしい時代だからこそ、明るい豊かな住みよい村づくりは、各家庭の生活指導がいちばんだと思います。私たち親は、「どうか、うちの子どもしかつてくください」という意識を持ちたいものです。

地域ぐるみの方法

非行防止について、これまで各種団体、各種学級、各機関が相互に歩み寄って努力しました。それにもかかわらず効果が少なかったことは、とても残念に思



います。青少年のためによい環境づくりは私たちの課題ですが実際の手法については、暗中模索というのが真実です。

① これまでいろいろやってきて感じることを述べてみます。

② 参加率が少ないので、思うように行事が実行しにくい。

③ 諸団体が合同でできる活動

は、話し合いを持って連携をとるのが理想的です。

非行をなくするためには、地域ぐるみで最善の努力を尽くすべきだと思います。昔から「女は弱いが母は強し」と言います。私たち母親は今の機会を逃がすことなく、よい環境づくりに努めましょう。

司会 青少年健全育成は重要な問題です。遠慮のない意見を交換することになります。

● 先ほどダメオヤジ論が出たので、父親のことを話します。昔の父親は威厳があり、親としてこわさも持っていた。親のこわさがあると、家庭の秩序と子供のしつけが保たれると思います。

● 昔は、おっかないオヤジで



あったが、今は母のこわさが出てきて、父はこわくない時代になった。父親やじさまをたてて子供に話しかける必要がある。

● なぜ父親が弱くなったのか、我々がつくりあげた時代を振り返ってみるべき。『最初の教師は親である。』と思います。

● 自分の子供もしかれないでどうして他人の子をしかれるか。現在の社会情勢の中で情操教育のむずかしさがある。社会のドブをつくっていくかない、ドブは小さいうちに埋めるという地域づくりが必要だと思う。

● 父親論をもう少し話し合ってみたい。自分の父親は学校へいったわけでもないが、生活の中から父母への信頼を感じとりました。現代の子供には、父母の働く姿が見えません。PTA活動を通して、働く姿やたくましさを植えたいたいものです。我々父親も父親の役割とは何かを考えてみるべきです。

● 子供が反抗するのは自然であり、自分も当時のことを思い出します。中学校、高校に入ると「やっぱり父親でなければ」という場面が多くなります。

● 私はダメオヤジの一人だが私が小さいころ、母親はかげながら子供を支えていました。今悩んでいるのは、四十代の人だと思えます。夫婦二人でどうしたらよいか考えなければならな

い。

助言

昭和五十五年のNHK「日本の子供たちの意識調査」を紹介します。これは約二千人の児童を対象にしています。

- ① 尊敬される父親の条件
 - 仕事のことを話してくれる
 - 勉強をみしてくれる
 - 世の中の動きを話してくれる
 - 一緒に食事をする機会が少な
 - ② 軽べつされる父親の条件
 - ふとんを敷いてくれる
 - 一緒に遊んでくれない
 - ふろに入るとき背中を流してくる
 - 一緒に夕食を食べる
- これらを見ると、父親の権威や男らしさを望んでいると考えられます。むしろ大人が考えすぎているむきもある。
- (東青教育事務所・向井徹)
- 工作上、子供たちをよくみる
 - 現在の状況では過保護すぎると思えます。先生がたたくとすぐ電話したり、子供のけんかに親が出たり。
 - 自分の子供であつても、夫婦の意見が一致しないと叱れません。非行防止などの会合が各種あるが、問題がある家庭はほとんど出席しません。
 - ダメオヤジがいるなら、ダメお母さんもあるはず。家庭教育学級などで学んだことを

家庭で生かしているでしょうか。集会や学習に出なかつた人にどうやって知らせるかですが、西洋紙に印刷して配るとか、隣近所連絡しようとか、学んだことをさらに地域に生かすことが必要だと思えます。

● 生活の中の遊びについて、意見はありませんか？

● 夏休み中の水泳ですが、玉松海水浴場は中沢地区から遠いし、環境もよくなりません。今年部落に海水浴場を設置してみました。小さい子供のほか、小・中学生でも泳げない人が半分以上です。昔は大きい生徒が指導役で、泳ぎを覚えたものです。現在は危険だといっているのでそれもやらせない状態です。

● 部落では、学校の方針に反することですが実施してみたく、救急法も駐在さんを頼んで勉強させました。問題なのは、監視人や指導者のことです。子供を自然に返してやりたいが問題も多いのです。これらの試みが危険だとするならば、プールの設置を行政に要望します。

(中沢地区)

- 高校生にもなると、心の中がなかなかつかめません。そこで、青年団と子供がよくからみあって遊んでいる光景をみかけるので、一緒に野球をやることにしました。この条件として、

子供たちが負けた場合たばこをのんだり、悪いことをしないこと。青年団が負けた場合はラーメンをおごることにしました。結果はラーメンをおごりました。その後非行も少なくなっています。地域の中で、青年たちと子供たちのこういう関係もたいてい思っています。

(中沢地区)

● 大人は子供に経験させないでダメダメと言うことが多い。子供にもある程度のことを経験

させ、その中から気付かせることが必要だと思えます。

討議② さそいあつて 活動に参加を

ほとんど会合に参加しない家庭もあります。

● どうしてですか？

● いろいろな会合や行事があつても、母親が出てこない、子供たちも参加しないという傾

向があります。他の地区ではどうですか。

● 中学三年生を持つお母さん方と電話で連絡とりあつて、お互いに情報交換しています。晩に子供とそのことを話題にして話します。

あるとき子供会の会合があり、注意したが言うことをきかなかつたので、その子たちが小さいとき、お母さんたちが互いに抱きあけてくらべあつた話を聞かれました。子供たちは家に帰ってからその話を母親にして、子供も心から納得したそうです。子供たちに思いきって膚でぶつかつてみることもだいじだと思います。

● 会合などにほとんど出てこない家庭をどうするかが課題だと思います。

● 印刷物などを配る運動はいいが、見ない人もいます。家庭訪問をしたらどうか。

● 小学校の運動会では父母、中学校では母親、中体連は一部の父母が集まるのが慣例のようです。地域活動を考えると、お互いにさそいあつて活動すべきではないでしょうか。

子供会や婦人会、母親クラブにしても互いに地域活動を通して、子供を見守り育てたいものです。小学校では、「あいさつ運動」をやっているが、家庭の中でもやればいいと思います。

● 蓬田村が青少年健全育成のために、村民会議を設立して活動していることはすばらしいことです。活動内容も地域ぐるみであり、高校生を持つ父母の会が結成されていることも見逃がせません。

家庭教育にはいろいろ問題があつても、次の三つが基本だと考えます。

- ① 家庭内でのあいさつ
- ② 「ハイ」という返事
- ③ 自分のことは自分でやらせる

問題のある子供をかかえる家庭では、親もなかなか出てきません。いろんな事情があると思うが、次のことがたいせつです。

① 一般的には民生委員などがあるが、互いにさそいあう心が必要です。

② 中・高校生になると、親よりも友人をだいじにします。青年団などが地域の子供たちの健全育成に積極的に働きかけをするのは効果的です。

③ わが家の例ですが、おやつを買ってきて新聞紙に広げ、顔をつき合せて話すことがあります。親子が対話する機会をつくりだすこともだいじです。

(東青教育事務所
主任指導主事 向井 徹)

● 高校時代は、小・中学とは違った生き方をしてきます。子供たちが出してくる話や行動の裏をもう一つ考える

● 親であつてほしい。子供に注意するにも問いかけの手法があります。高校生の心理を理解することが必要です。

『社会のドブをつくっているのは大人ではないか。』という意見ですが、実際大人がつくったドブに子供はどっぷりつかっています。これには、家庭、学校、社会のドブがあります。

① 家庭には家族構成の問題。年寄りのいない核家族の情操教育。

② 学校は、ほとんどの人が高校へ。子供たちにすれば、不本意ながら学校へ。

③ 社会には一部商業者ベースでつくりだしたドブがある。父親論ですが、父には三回の出番があります。

① パパとしての出番

② お父さんとしての出番
(豊かな経験者として)

③ 父親としての出番
(人間味あふれる父親)

子供たちの父として、これら三回の出番を自覚したいものです。

(県社会教育課
生涯学習相談員 辻村武友)

ぼくたちの考える蓬田村

蓬田小五年・中川貴世仁

ぼくたちは学級会で、ぼくたちの考える村について話し合いました。

みんないろいろな意見を出しました。その結果、交通事故のない村、海のきれいな村、ゴミのちらかっていない村、仲の良い村、悪い人のいない村、火遊びや火事のない村、協力する村の、七つが出ました。そして、

こういうのはどうすれば防げるか話し合いました。

まず交通事故のない村ですが、残念ながら、小学校では早くも起こっています。これからは守れると思います。

それには、村の全員が交通ルールを守ればよいと思います。

大人の人は、車のスピードを出さず、ぼくたちは左右をよく見て横断し一列に歩きます。これが守れば、絶対防げると思います。

海のきれいな村ですが、原因はゴミを海に捨てるから海がよごれるのです。ちゃんと収集所があるのだから、ゴミ袋に入れて、そこに持っていきときれいになると思います。

ゴミのちらかっていない村ですが、車から空き缶を投げないこと。部落の各地にゴミばこを置くこと。ゴミをポイポイ捨てないきれいな村にするには、これを一人ひとり守ることがたいせつです。

仲の良い村ですが、小学校でも仲間われが多くなっています。悪口を言う人は、どこかで悪口を言われていると先生が言いました。仲が良いということは、すばらしいことだと思います。だから大人の人も仲を良くしてください。

次に悪い人のいない村ですが、万引きをする人がいない、悪い

ことをしていると思ったら注意する、あぶない物を売らない、これらを守ればよいと思います。万引きなどは、生活からくるものだと考えます。自分で万引きをしない強い心をつくらなければと思います。

火遊び火事のない村。これは勝手にマッチやライターを持ち出さない。ストローやガスは気をつけて取りあつかうこと。火はほんとうに便利なものだけどそまつにあつかうとおそろしいものだと思います。火はていねいにあつかってください。

最後に協力する村ですが、協力しあう、助け合う、何かあったときみんな協力しあう。一人でできないことを、みんな協力して助けてあげる。ぼくがだれかに協力して助けてあげれば、今度何かあったとき、みんな助けてくれると思います。

そして、ぼくたちが大きくなって働くようになったとき、これが実現されていないと思ったら、ぼくたちが実現したいと思えます。

事故のない村、海のきれいな村、ゴミのちらかっていない村、仲の良い村、悪い人のいない村、火遊びや火事のない村、協力する村、この七つ、今日から村の全員で実行していきますよ。

親子でとりくむ雪像づくり

蓬田小学校では、冬休みのPTA校外班活動の一つとして、第一回雪像づくりを行いました。部落毎に親と子が一緒になってつくりあげた雪像は、子供たちの夢があふれ、親子の歓声が聞こえそうなすばらしいできばえです。1月17日に審査会を行い、2月8日は大きなトロフィーが子供たちに渡されました。

☑審査結果

最優秀賞	高根	恐竜
優秀賞	郷沢	漁船
優良賞	長科	亀
敢闘賞	中沢	漁船
敢闘賞	阿弥陀川	漁船
技能賞	蓬田	E. T.
技能賞	瀬辺地	獅子丸
努力賞	広瀬	いのしし



蓬田部落 E. T.

あなたの一票たいせつに

4月10日県議会議員選挙

4月24日 蓬田村長・蓬田村議会議員選挙

四月十日は県議会議員選挙、四月二十四日は最も身近な村長・村議会議員選挙が行われます。

きれいな選挙できれいな村政を目指すためには、お金や物、義理人情に惑わされない

あなたの確かな目と判断が必要です。

候補者はもちろん、私たちが有権者もルールを守り、たいせつな一票を汚さないように明るい選挙を推進しましょう。



投票するときの注意

投票は、私たちの貴重な権利であり、住みよい豊かな県政、村政を託したいせつなものです。それだけに投票は慎重でなければなりません。

投票できる時間は、午前七時から午後六時まで。

選挙管理委員会では、棄権防止の呼びかけの一つとして、投票入場券を発行しています。投票には、入場券を忘

れずにお持ちください。入場券をなくした場合でも、選挙権があり選挙人名簿に登録されている人は投票できます。

投票所で係員に申し出てください。

候補者の名前は、はつきり書きましょう。せつかく投票しても書いた字がわからな

いと無効になることがあります。余分なことは書かないこと。

字を知らなかったり、手にケガをして書けないときは、投票所で係員に申し出れば、代理投票の補助者から代筆してもらえます。投票の秘密は守られますので、安心して申し出てください。

新生活運動 追加内容

披露宴は三時間以内を厳守すること。

二、葬祭

三十五日のおつかいあるときは三千円以内とする。(当業者の贈物はない)

一周忌ほかのおつかいある人は五千円以内とする。(当業者の贈物は千円以内)

念仏米は全廃する。

お布施は葬儀十万円以内、三十五日二万円以内、一周忌ほか三万円以内とする。

授戒会に係る中やく(中休み)に際しての見舞は自由とする。ごちそうでもてなすことは、新生活運動の主旨に従い簡素化する。

祭壇は農協に発注すること。

三、祝・見舞

選挙運動に関し、立候補者にお酒などを贈呈することは選挙法に抵触するので、贈らない、受け取らないことを厳守すること。当選後の祝い酒についても同様とする。

祝、見舞については二千元以内を厳守する。

一、結婚 ● 役場、団体、会社などの職場の招待者は、所属程度にとどめる。一般家庭でも原則として招待者は一人とする。やむを得ない場合は二人までとする。

追加要項

結婚・葬祭の参考例

・収入	
会費	7,000円
・支出	
おぜん	3,000円
	↓
	3,500円
記念品	1,500円
	↓
	2,000円
飲み物	800円
席次表	200円
案内状	240円
名札	10円
下足札	10円
会場費	200円
連絡費	200円
雑費	340円

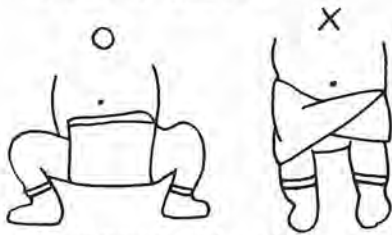
保健婦だより 赤ちゃんの 股関節脱臼検診

股関節脱臼検診は、生後3か月から1年未満の赤ちゃんを対象に行います。当村では青森から『あすなろ学園』の先生を招いて、年に3回実施しています。

股関節脱臼は、足の付け根の骨の発育が悪かったり、無理に足をのばすことによって、股関節から骨がはずれてしまうことをいいます。

昔は生まれつきだといわれましたが、その後の調査により、オムツを当てるときや着物を着せるときに、無理に足をのばすために起こることが多いとわかりました。男の子より、女の子に多い傾向です。

早くみつけると治療も簡単で、他の子供が歩きだす時期までには治ることができます。1回目の検診で発見できなくても、2回目、3回めでわかることがあります。検診は必ず受けて、予防につとめることが親の責任です。



(股間だけのおむつにしましょう)

●検診での発見状況

年度	性別	脱臼発見時期	精密検査結果
54年	女	3か月15日	治療要す 異常なし
	女	5か月11日	
	男	6か月19日	
55年	女	5か月1日	治療要す 異常なし
	女	3か月25日	
56年	女	3か月2日	異常なし
	男	7か月1日	
57年	女	3か月15日	異常なし
	女	3か月21日	

不在者投票

選挙権のある人は、投票日に投票所で投票するのがたてまえです。

投票日にやむを得ない用事で投票所へ行けない人は、その理由を書いた「宣誓書」を提出して不在者投票をすることができます。宣誓書の用紙は、村選挙管理委員会にあります。

不在者投票をする人は、印鑑を持って選挙管理委員会においでください。

出稼ぎなどのため蓬田村を遠く離れている人は、郵便で投票用紙などを請求できます。郵送の期間を考慮して、早めに手続きをしましょう。

不在者投票ができる期間は、選挙の告示の日から投票日の前日までです。時間は午前8

時30分から午後5時まで。日曜日や祝祭日でもできます。

● 県議会議員選挙不在者投票期間 3月29日～4月9日

● 村長、村議会議員選挙不在者投票期間 4月17日～4月23日

郵便投票

からだの自由な人のために、郵便による不在者投票があります。

これは自宅で投票用紙に書いて郵便で選挙管理委員会に送る方法です。選挙人名簿に登録されている人で、次の表に該当する人がこの制度で投票できます。

ただしこの制度は、投票制度の大きな例外ですから、あらかじめ選挙管理委員会におたずねください。

障害の範囲	障害の種類
● 身体障害者手帳をお持ちの人で……	両下肢障害・体幹の障害 ……1級もしくは2級である者 心臓障害・じん臓障害・呼吸器障害 ……1級もしくは3級である者 障害の程度が上記に該当する人
● 県知事が証明した人	
● 戦傷病者手帳をお持ちの人で……	両下肢障害・体幹の障害 ……特別項症から第2項症までの者 心臓障害・じん臓障害・呼吸器障害 ……特別項症から第3項症までの者 障害の程度が上記に該当する人
● 県知事が証明した人	

四月から五八三〇円

国民年金保険料改正

国民年金の保険料が昭和五十八年四月から、月額五、八三〇円になります。

国民年金は、農林漁業、自営業などの人とその家族を対象にしています。加入者が年をとったり、障害者になったり、母子家庭になったときに年金を支給して生活の安定を図る年金制度で、その年金額は経済変動により目減りしないように改定が行われます。

年金額の改定は、五年ごとの「財政再計算期」に、国民の生活水準等の変動に応じて行われます。さらに、消費者物価指数が一年度または継続する二年度以上の期間に五％を越えて変動

した場合には、自動的に年金額を改定する「物価スライド制」がとられています。

年金給付の財源は、みなさんが納めた保険料と国庫負担によつてまかなわれています。支払われる年金額の三分の一は国庫負担です。

国民年金制度充実のため、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



中沢地区では、農村文化の再発見と見直しで、住みよい地域づくりを目指す「むらづくり運動」を実践中です。

一月十三日には、村にいきづいてある農耕文化の一つ「ワラ細工」を取りあげて、伝承会を開きました。縄文人が土器に描いた縄目模様。ワラは古代から現代まで、農業とともに人々の暮らしの中で生きていた生活文化です。

伝承会では、部落の長老たちが指導者となり、みごとな手の技を伝授。子供たちは、まずワラをツチでたたいてナワをなうことからスタート。シメナワならだいじょうぶと、自信满满です。婦人たちは地域の野菜をふんだんに使った郷土料理をつくり、ふるさとの味をごちそうしました。

ワラ細工伝承会

中沢地区むらづくり運動





瀬辺地青年会の仲間たちと（本人右端）

ヤング
メッセージ
No.29 太志
坂本 瀬辺地



談話室

若い仲間が大集合

蓬田村のみなさん、こんにちは。瀬辺地の坂本太志です。青年団に入って、八か月が

過ぎました。入る前は団員の人を見て、よく仕事が終わってからあんなに動けるなあ、

と思っていたのです。というよりも『バカらしいなあ。』と
思っていたという方が、正直
な考えでした。

ところがある日、青年団の
活動を見ていて驚くことがあ
りました。それは、わが部落
の青年団員に二十歳から二十
五歳の男子がいないのです。

ちょうど動きやすい年ごろの
団員がいないのを見て、『よ
し、入ってみよう。』という気
持ちになったのです。

入ってみると、いろいろな
メリットがありました。人を
たくさん覚えることができる
し、今まで話をしたことのない
人とも話せました。青年団
の活動は、私にとって楽しい
ことだらけです。

まだ青年団に入っていない
若人、それから今春学校を卒
業するみなさん、青年団に入
って地域の若い仲間たちとい
つしよにがんばってみません
か。私はみなさんの入団を願
っています。

最後にひと言
「青年団、バンザイ！」
追伸 ファンレターを待つて
います。

折々の歌

姑ははの形見それぞれの手に渡し終えつ
簞笥たんすはかわきて 軽き音たつ

はるかなり日暮れの姑よ板の間に
冬至かぼちやを われも煮るなり

眠られず部落むらで一年の死者の数
かぞへしと言ひし姑を想ひき

この年も三年みとせ続きし冷害に
寒し巻は 年の瀬にして

折々の冷害に耐え古希迎ふ
詮なきものか 冷害災は

新年しんねんの願を込めて拝殿の
人群むらるるなか豊作祈る

（以上三首・吉崎慶次郎作）

父の言葉が励み

蓬田中三年・福井美子

私の父は今年の六月から東京で働くことになりました。父一人いなくなると、家の中もだいぶちがった感じでした。夏休みに一回帰ってきたとき、元気な顔を見て安心しました。父は何かあると相談にのってくれます。時には電話をかけてきて話をしたり、手紙をくれます。父ががんばっていると思うと、私もがんばらなきゃいけないと思うのです。いつも父の言葉を励みにしています。

気になるのは健康のことです。青森とは天気のように、生活環境も違うので、無理しないでください。私も父に迷惑かけないようにします。

とっちや 元気ですか

出稼老文集「みずどり」より

「自分の好きな道を歩め」父の言葉です。自分の好きな仕事をやるなら、とてもよいことだと思います。私も近い将来、真剣に自分に正直に考えていくつもりです。

いろいろ父に心配をかけたけど、何度もわがまま言った私だけど、父にはいつまでも元気でいてほしい気持ちでいっぱいです。

「わあい、帰ってきた。」と言って、わたしは二階のお父さんのねているところへ行って戸を開けたらお父さんがおきた。お父さんのふとんに入って、『何時にきたの。』と聞くと、『一時三〇分ぐらいだ。』と返事して『背、大きくなつたな。勉強しているが。』と言うから、とてもうれしかった。

お父さん、北海道は寒いから、かぜをひかないようにトラックのしごとががんばってください。

かぜをひかないで

蓬田小三年・稲葉寛子

わたしは五時三〇分くらいに起きて、お父さんが帰ってきたか見ようとしたら、いすの下にお父さんのカバンがあったので、帰ってきたと思っただ。

白髪が増えた父

蓬田中二年・杉田栄子

うちのお父さんは、私の生まれるずっと前から二十四年も家にいません。私たち家族から離れて、遠いところで少しでも多くお金をとっているのです。

そういうお父さんが正月、お盆、春休みなどに来るたび、少しずつ年老いて白髪がふえているようです。それを見るたび、苦労しているんだなあと思います。家へ帰ったときも、めったに休まずいつも働いています。

給料を送ってくれるときだって、自分のこずかいをけずって私にくれます。とってもよい父さんは、やっぱりうちにいてくれるほうがいいなあと思います。からだに気をつけてがんばってください。



情報

地酒ずしをつくらう

●材料 (5人分)

- | | | |
|-----|-------|----------------------|
| 米 | カップ5 | |
| 地酒 | カップ1 | |
| ずし飯 | 酢 | カップ $\frac{3}{2}$ |
| | 塩 | 大さじ1 $\frac{1}{2}$ |
| | 砂糖 | 大さじ3 |
| | 甘塩紅さけ | 3切、しいたけ5枚 |
| 具 | 塩わかめ | 50g、食用菊70g |
| | 酢しょうが | 50g |
| | ふりかけ酢 | 酢 大さじ5
酒 大さじ5、塩少々 |

●作り方

- ①紅さけは焼いて皮をのぞき、身をほぐす。
- ②しいたけは、しょうゆと砂糖で濃いめに味つけ。
- ③わかめは塩を落とす程度に水洗いし、かけ酢をする。
- ④食用菊は色よくさつとゆでて水を切り、かけ酢をする。
- ⑤酢しょうがは、せん切にする。
- ⑥ずし飯と①②③④⑤をさっくり混ぜ合わせる。



農業改良普及所の指導で“お米料理教室”

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,487人)

12月・1月受付分

◎お誕生おめでとうございます

- 室谷 京子 (二三男・長女)
- 藤本 知恵 (信幸・長女)
- 武井 尚子 (隆一・2女)
- 武井 ゆみ (誠純・長女)
- 高田 隼人 (正昭・長男)
- 坂本 千晶 (睦夫・2女)
- 藤田 祐貴 (秀晴・長男)
- 川崎 茂雄 (智治・長男)
- 川嶋 宏美 (善光・2女)
- 清水 専哉 (淳範・長男)
- 坂本 奈央美 (継光・2女)
- 福井 友子 (俊行・長女)

◎ご結婚おめでとうございます

- (工藤 順勝 (長科))
- (菊川 昭子 (秋田県))
- (田中 憲仁 (蓬田))
- (小笠原美香子 (青森市))
- (村上 亮 (蟹田町))
- (坂本 絹子 (瀬辺地))
- (山田 宏之 (静岡県))
- (田中 良子 (広瀬))
- (野宮 範雅 (青森市))
- (三上 明美 (中沢))
- (南 安治 (函館市))
- (坂本 文子 (中沢))
- (中村 大八 (蓬田))
- (横濱 孝子 (青森市))

◎おくやみ申しあげます

- 小鹿 助正 (長科・58歳)
- 久慈 久雄 (瀬辺地・47歳)
- 八戸 ツセ (阿弥陀川・67歳)
- 松本 つる (長科・84歳)
- 青木 幸男 (阿弥陀川・51歳)
- 吉田 永之 (中沢・87歳)
- 坂本 ナヨ (中沢・84歳)
- 高田 金次郎 (郷沢・80歳)
- 八幡 伊助 (高根・86歳)
- 古川 豊一 (阿弥陀川・68歳)
- 武井 ハル (蓬田・81歳)
- 村上 真美 (蓬田・2歳)



- ◎中沢 (カッコ内は保護者)
工藤治郎 (修治)・吉田 誠 (治徳)・坂本孝司 (宏孝)・坂本光久 (広佳)・木村峰子 (道雄)・三上紀子 (春逸)・藤田 裕子 (賢一)
- ◎長科
松本卓也 (順一)・藤本俊光 (文雄)・張間啓幸 (幾夫)・藤本 篤 (治郎吉)・小鹿太陽 (重一)・小鹿貴志 (誠)・太田真依子 (良一)・室谷麗美 (法男)・松本智恵子 (友彦)・小鹿奈穂子 (秀敏)・藤本園子 (昭男)
- ◎阿弥陀川
大橋純一 (孝男)・森 一心 (芳弘)・川内健志 (健吉)・森 存穂 (勝重)・山谷紀子 (勝雄)・森 直子 (司)・森由香子 (千代治)・森 麻琴 (正文)・川内重紀 (哲郎)・八戸美香 (光

- 弘)・八戸香苗 (年美)
- ◎蓬田
中村公一 (聡)・室谷 勝 (幸年)・室谷竜弘 (二三男)・中村孝太 (賢)・工藤 晃 (三男)・村上里香 (興志一)・穂波宏子 (宏一)・細谷 忠 (勝成)
- ◎郷沢
工藤辰行 (竹行)・田中健一 (清)・高田祥栄 (栄)

- ◎瀬辺地
山館貴之 (牧子)・越田 健 (勇一)・越田信仁 (心一)・伊豫部 光 (良光)・久慈麻美 (正明)・木村恵美子 (陸奥夫)・田中美年子 (鉄男)・越田静代 (正和)
- ◎広瀬
吉田信二 (光信)・相坂紀幸 (義男)・佐々木憲一 (秀雄)・山館慎之介 (五十一)・川崎晴彦 (勝則)・浜名 忠 (忠行)・福浦純子 (勝巳)・松谷昌子 (キヨ子)・越田里美 (喜代信)
- ◎高根
八幡智美 (敏雄)・八幡勝子 (勝)

春よ来い
早く来い。
ぼくたち春から一年生

短歌・俳句募集します

次号から、村民文芸欄として短歌、俳句を募集します。一回につき一人三句、四月十日日まで投稿願います。

特に高齢者の皆さまには、頭の体操としておすすめします。

季節の移り変わり、日常の暮らしの中で感じたことなど自由によんでみましょう。

●送付先

蓬田村役場総務課 広報係

毎年毎年春が来て、いちばん最初に自分の目で、もんしろちようを見た日を、毎年毎年記録した人がいます。

何気ない村の路地や村並を、毎年毎年同じ角度で撮り続けるとか、一年を通して撮り続けるとかやってみたくありません。